

大津町で和を知る



6月11日～6月15日の5日間、町にアメリカ合衆国ネブラスカ州リンカーンサウスウエスト高校から10人の高校生と1人の引率の先生がやってきました。これは、引率の日本語教師ジェレミー・スミス先生が、町の姉妹都市である同州ヘイスティングズ市の出身であることが縁で今回の訪問になりました。彼ら11人の訪問団は、町に滞在している間、ホームステイを希望しました。

そこで、町国際交流協会のホストファミリーの家にホームステイをしました。今回のホームステイで、高校生たちも8組のホストファミリーもたくさんこの経験しました。国際交流の一環である今回のホームステイ。その様子を紹介します。



大津小の子どもたちとドッジボール。負けないぞ!



お姉ちゃん、習字が上手!



円満寺窯(真木)で陶芸体験



阿蘇山に行ったり、熊本城に行ったり...ホストファミリーと思いきいの時間を過ごしました



布団で寝るのもなかなかいいね(足がはみ出てるけど)



英語で本の読み聞かせ。楽しいなあ!



大津高校でクロッキーのモデルにしてみました



似顔絵、こんなに上手に書いてもらったよ!



お茶を教えてくださいました



着物似合う?



歓迎会で記念撮影

3回目のホストファミリー



甲斐ファミリー

3年前に長男が町のホームステイプログラムでヘイスティングズ市へ行きました。ステイ先の家族に大変お世話になり感謝していました。そのお返しに「何か私たち役に立つことがあれば」と思ってホストファミリーを引き受けています。最初受けたときは、緊張でうまく会話ができなかったことを思い出します。昨年、今年と少しずつ緊張も解けてきました。

今年は、自分の子どもと同年代の高校生を預かることになり、子どもが増えたような感じで大変楽しい時間でした。日本語の勉強をしていることは聞いていましたが、彼らはとても上手に日本語で会話をします。日本人の生活習慣についても理解して、「日本人より日本人らしい」と思うことが多々ありびっくりしました。礼儀正しくておくゆかしいという言葉が似合います。短い時間でしたがとても楽しい時間を過ごせました。子どもたちは、「来年の夏休みには遊びに行くから」と約束もしています。私たち家族は、また彼らに会える日を楽しみにしています。ホストファミリーを受けて本当に良かったと感じています。

楽しかった初めての経験



西岡ファミリー

昨年、息子がヘイスティングズ市にホームステイをしました。少し心配しましたがステイ先の家族の皆さんに良くしてもらい帰ってきた息子の顔は出発前とは変わってたくましく感じました。今度は、私たちの番と思いホストファミリーを引き受けました。

今回のホームステイの中でこんなことがありました。朝食の時、「どうぞ」と言ってもジェイクくんがなかなか食べようとしませんでした。「何故食べない?」と聞いたら、「ジェレミー先生から『朝ごはんは、みんなが揃ってから食べるように』とされているから」と言ったのです。

みんなに気を使っている様子にあわて、子どもたちを席に着かせて食事を始めました。私たちは、彼が外国に来て不自由かなと思っていたのに、逆に気づかひができる彼の優しさを感じました。また、宮沢さん宅にステイしている高校生も招待して茶道体験をしました。楽しく日本文化に触れてもらえればと思いました。さよならパーティには、たくさんの方が一品ずつ料理を持ち寄り、また和太鼓の演奏もあり楽しい時間を共有できました。